

第96号

編集と発行



最上川中流土地改良区

〒990-2476 山形市飯沢62番地の2

TEL(023)645-1210(代表) FAX(023)645-2613

E-mail:yamagata@mogami-churyu.or.jp

ホームページ:http://www.mogami-churyu.jp

令和7年12月発行



つながるマルシェ風景

〈 主な項目内容 〉

- | | |
|-----------------------------------|---------------------------|
| ○理事長就任あいさつ、
第189回総代会 他 …………… 2 | ○令和6年度 決算報告、監査報告 … 6～8 |
| ○任期満了に伴う役員総選任 …………… 3 | ○今年の水管理、地区管理運営委員会だより … 9 |
| ○第15期総代、総代運営協議会 …… 4 | ○つながるマルシェ、農・How・ラボ 他 … 10 |
| ○地区管理運営委員会、水利調整委員会 … 5 | ○改良区への通知、使用料・手数料について … 11 |
| | ○西部幹線水路の踏査、注意喚起 他 … 12 |

令和七年十月二十二日開催の第五十二回理事会において 理事長に 大築義雅氏が再任されました。



理事長 大 築 義 雅

【理事長あいさつ】

この度、最上川中流土地改良区の理事長として再任されました大築義雅です。引き続きこの重責を担うにあたり、身の引き締まる思いでございます。まずは、これまでの任期中、改良区の運営にご理解とご協力を賜りました組合員と関係機関の皆様、心より厚く御礼申し上げます。

さて、この数年間、老朽化が進む農業施設の維持管理や、効率的な用水管理体制の整備など、農業基盤の安定に向けて取り組んでまいりましたが、本年四月に国営大曾根揚水機場において漏水事故が起き、現在来春の需要期にご不便が無いように万全な対応を期しているところです。当改良区が設立

してから、五十六年を迎え、このような突発事故がいつ起こるか推測がつかない状況下で、地域の農業を未来へとつないでいかなければなりません。施設の長寿命化やデジタル化など、新しい発想が求められている今日ですが、日常の管理体制に重点を置きながら、現場の声を第一ととらえ「地域社会から信頼される改良区」「持続可能な地域農業」の実現に向けての全力を尽くす所存です。

また、市街地を背景に持つ改良区として、行政や各関係機関との連携を一層強化し、組合員の皆様が安心して農業に専念できるように努力していきます。改良区の活動が単なる施設管理や用水管理にとどまらず、地域に活力を与えられる土地改良区を目指し、役員一同、誠心誠意取り組んでまいります。

引き続き、皆様の温かいご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。私の再任のご挨拶いたします。

第一八九回総代会 令和七年八月八日

今総代会は、令和六年度に執行した事業内容、財産の変化、会計の収支決算書の承認を諮る総代会であります。総代六十八名の出席を頂き提出された全案件が原案のとおり可決承認されました。

【議決案件】

- 議第一号 最上川中流土地改良区定款の一部改正について
- 議第二号 最上川中流土地改良区一般職員の給与に関する規程の一部改正について
- 議第三号 令和六年度決算関係書類の承認について
- 議第四号 令和七年度一般会計第一回補正予算書の承認について
- 議第五号 付帯議決について



総代会の様子

第一九〇回総代会 令和七年十月七日

令和七年十月七日に改選後初の総代会が開催され、「議第一号 最上川中流土地改良区第十五期総代の議席指定について」の一案件を原案のとおり可決承認されました。

第一九一回総代会 令和七年十月二十日

令和七年十月二十日開催の総代会は、「議第一号 最上川中流土地改良区役員(理事・監事)総選任に係る立会人の選任について」、「議第二号 最上川中流土地改良区役員(理事・監事)総選任について」の二案件を原案のとおり可決承認されました。



総代会の様子

最上川中流土地改良区 第191回総

任期満了に伴う役員総選任により 次の新役員が就任

任 期：令和 7 年10月22日から
令和11年10月21日まで

役員の任期満了に伴い、令和 7 年10月20日開催の第191回総代会において役員総選任が行われ、各被選任区とも定数どおりの新役員20名（理事17名・監事3名）が選任されました。また、理事長に大築義雅氏（再任）、副理事長に海和盛行氏（再任）西村博幸氏（新任）、総括監事に五十嵐昇氏（新任）が就任しました。

組合員皆様のご協力をお願い申し上げます。



※印は新任の方です

（名前）役職
（担当部会）委員会

※佐藤 敏明 監事 (千歳)	※奥山 長伸 理事 総務部会(西部)	丹野 憲司 理事 総務部会(北部)	柴田 裕一 理事 管理部会(中部)	櫻井 俊明 理事 管理部会(八ヶ郷)	伊藤喜久雄 理事 管理部会(明治)	小関 健登 理事 管理部会(西部)	堀野 秀子 理事 管理部会(員外)	※高野 弘明 理事 総務部会(西部)	※三浦 新一 監事 (玉虫)
長岡 幸一 理事 管理部会(北部)	栗野 省三 理事 総務部会(西部)	新関徳次郎 理事 管理部会(西部)	西村 博幸 副理事長 (西部)	大築 義雅 理事長 (中部)	海和 盛行 副理事長 (出羽)	前田 信雄 理事 総務部会(八ヶ郷)	五十嵐 昇 総括監事 (中部)	朝倉 了 理事 総務部会(中部)	須貝 俊美 理事 総務部会(南山形)

勇退

役員・総代

これまで、当土地改良区発展に多大なご尽力を頂き誠に有り難うございました。
(敬称略)

◎役員

理 事 広谷五郎左門(西部)四期
理 事 開沼 勇一(西部)二期
総括監事 江口 順市(玉虫)四期
監 事 渡邊 欣一(千歳)二期

◎総代

秋葉正義(中部) 金子照義(中部)
武田義弘(西部) 齊藤一郎(八ヶ郷)
伊藤 巧(西部) 蛇子 一(西部)
鈴木良則(出羽) 齊藤 明(西部)
渡辺嘉夫(玉虫) 会田平四郎(西部)
三浦新一(玉虫) 高瀬澄夫(南山形)
杉沼俊昭(西部) 佐藤敏明(千歳)
金澤 功(中部) 渡邊定芳(久保手)
有海賢二(中部) 奥山長伸(西部)
三浦 啓(西部) 武田 稔(明治)
鹿野弘一(中部) 大宮裕志(南山形)
丹野久治(南山形) 伊藤賢一(北部)
岸 英一(西部) 高橋 登(西部)
高野弘明(西部) 原田忠廣(八ヶ郷)
秋葉俊彦(明治) 門間正三郎(西部)
設楽正男(千歳) 丹野 勉(北部)
加藤繁敏(西部) 寒河江文男(西部)
鈴木吉雄(中部) 松田和浩(北部)

大築理事長が山形県土地改良事業団体連合会副会長理事に就任いたしました

第 15 期 総 代 (75 名) が 決 ま る

任 期：令和 7 年10月 7 日から
令和11年10月 6 日まで

当土地改良区総代の任期満了に伴う総選挙が、最上川中流土地改良区総代選挙規程に基づき執行され各選挙区とも定数どおりで無投票となり、9月5日選挙区毎の選挙会が行われ正式決定となりました。

※ ◎の方は、各選挙区の地区協議会会長、○の方は、各選挙区の地区協議会副会長です。

第1選挙区 (定数29名)			第2選挙区 (定数18名)			第3選挙区 (定数28名)		
氏 名	所属委員会	経歴	氏 名	所属委員会	経歴	氏 名	所属委員会	経歴
小 関 俊 博	西部	新任	永 野 輝 雄	中部	新任	貝 和 良 一	北部	新任
加 藤 寛 美	西部	新任	七五三 勲	中部	新任	浅 沼 勇 司	明治	新任
遠 藤 勝 彦	西部	新任	横 沢 浩 昭	南山形	新任	丹 野 順 悦	北部	新任
野 口 協 一	西部	新任	吉 田 一 雄	中部	新任	加 藤 正 司	八ヶ郷	新任
木 村 紀 男	西部	新任	金 子 倫 也	中部	新任	丹 野 和 彦	出羽	新任
志 田 誠 司	西部	新任	伊 藤 信 行	南山形	新任	秋 葉 政 広	明治	新任
寺 嶋 忠 男	玉虫	新任	岩 口 仁	南山形	新任	堀 佐四郎	八ヶ郷	新任
杉 坂 雄 一	玉虫	新任	朝 倉 克 昭	中部	新任	小 山 武	千歳	新任
渡 邊 良 明	久・隔	新任	岡 崎 智 弘	中部	2期	丹 野 都 弘	北部	新任
土 屋 修 一	西部	新任	井 上 孝	中部	2期	鈴 木 章	北部	新任
漆 山 馨	西部	新任	岩 田 博 之	中部	2期	遠 藤 利 裕	北部	新任
渡 邊 長五郎	久・隔	新任	推 名 正 美	中部	2期	酒 井 利 輝	千歳	新任
加 藤 昇	西部	新任	渡 辺 洋 二	南山形	2期	中 村 和 一	出羽	2期
鬼 島 悦 雄	西部	新任	齋 藤 良 一	中部	3期	庄 司 栄一郎	明治	2期
栗 野 龍 一	西部	新任	荒 井 秀 晃	中部	3期	高 橋 守	八ヶ郷	2期
中 村 義 助	西部	新任	○ 齋 藤 孝一郎	中部	3期	斎 藤 仁	出羽	2期
古 内 明 男	西部	新任	栗 原 繁 弘	中部	3期	○ 種 本 敏 広	出羽	2期
伊 藤 洋 助	西部	2期	◎ 古 頭 金一郎	南山形	6期	○ 安 達 良 一	八ヶ郷	2期
山 口 泰 弘	西部	2期				花 等 正 則	北部	2期
須 藤 久仁夫	西部	2期				西 倉 正 人	八ヶ郷	2期
高 内 孝太郎	西部	2期				鈴 木 義 憲	八ヶ郷	2期
佐 藤 光 之	玉虫	3期				安 達 浩 之	明治	3期
○ 鈴 木 勇 一	西部	3期				室 岡 昌 弘	明治	3期
安 達 和 広	西部	3期				山 川 清治郎	北部	3期
○ 今 野 重 敏	西部	3期				小 林 康 弘	出羽	5期
鎌 田 清 蔵	西部	5期				丸 子 宏	出羽	5期
城戸口 正 美	西部	5期				佐 藤 裕 士	北部	6期
大 木 万之助	西部	7期				◎ 三 部 太右エ門	北部	6期
◎ 須 貝 正 信	西部	8期						



総代運営協議会

総代運営協議会は各選挙区の地区協議会会長と副会長の8名で構成され、役員候補者推薦に関する事項はじめ総代会の運営に関する業務を行います。

- 会 長 須貝 正信
- 副会長 古頭 金一郎、三部 太右エ門
- 委 員 今野 重敏、齋藤 孝一郎、鈴木 勇一、安達 良一、種本 敏広

地区管理運営委員会

当土地改良区には、10の管理運営委員会と2つの維持管理委員会、1つの委員会があり、それぞれの地区の運営・維持管理・賦課金の徴収・役員候補者の推薦・その他のことについての仕事をしています。令和7年9月の総代選挙及び10月の役員選任に伴って、各地区委員会の委員長、副委員長には次の方々が就任されました。

	地区委員会	委員長	副委員長	
		氏 名	氏 名	氏 名
1	明 治	伊 藤 喜久雄	安 達 浩 之	
2	出 羽	海 和 盛 行	丸 子 宏	小 林 康 弘
3	千 歳	佐 藤 敏 明	小 山 武	
4	北 部	長 岡 幸 一	丹 野 憲 司	
5	八ヶ郷	前 田 信 雄	櫻 井 俊 明	
6	中 部	朝 倉 了	五十嵐 昇	
7	南 山 形	古 頭 金一郎	鈴 木 敏 一	
8	久保手・隔間場	渡 邊 定 芳	渡 部 重 順	渡 辺 良 明
9	西 部	西 村 博 幸	小 関 健 登	
10	玉 虫	三 浦 新 一	寺 嶋 忠 男	
1	出羽・明治	海 和 盛 行	伊 藤 喜久雄	
2	成 沢	荒 井 勲	相 馬 清 孝	
1	十 文 字	高 橋 正 俊	日 野 正 寛	

水利調整委員会

当土地改良区は、用水の管理にあたり有効利用を図るために水利調整委員会を設置しています。令和7年10月22日から令和11年10月21日までの4年間、水利調整をしていただく38名の各分水工の水利調整委員は次の方々です。

組合員皆様の水利に関するご要望は、土地改良区事務局に直接ご連絡くださっても対応できませんので、必ず地元の水利調整委員に相談してください。

◎ 委員長 大木 万之助

○ 副委員長 丸子 宏、齋藤 良一

名 称	氏 名	名 称	氏 名
1号 (山 辺)	三 浦 新 一	20号 (本 沢)	関 口 平 和
2号 (北宿第1)	高 内 孝太郎	21号 (一ノ関頭首工)	庄 司 義 文
3号 (北宿第2)	小 関 健 登	22号 (久保手)	渡 邊 長五郎
4号 (反 田)	鎌 田 清 蔵	23号 (南 館)	吉 田 一 雄
5号 (古 館)	加 藤 秀 正	24号 (上 町)	齋 藤 孝一郎
6号 (根 際)	伊 藤 洋 助	25号 (石 関)	朝 倉 克 昭
7号 (要 害)	鈴 木 勇 一	26号 (飯 塚)	荒 井 秀 晃
8号 (常明寺)	庄 司 信 夫	27号 (榎 沢)	金 子 倫 也
9号 (二ツ筒頭首工)	阿部 太左ヱ門	28号 (西 崎)	○ 齋 藤 良 一
10号 (文珠山分水工)	◎ 大 木 万之助	29号 (志戸田)	五十嵐 昇
11号 (門伝第1)	加 藤 秀 正	30号 (追 散)	栗 原 繁 弘
12号 (門伝第2)	高 野 弘 明	31号 (八ヶ郷第1・2)	安 達 良 一
13号 (山王頭首工)	笹 原 秀 一	32号 (八ヶ郷第3)	貝 和 良 一
14号 (柏 倉)	中 村 義 助	33号 (今 塚)	丹 野 雅 彦
15号 (富神頭首工)	西 村 博 幸	34号 (沖 堰)	酒 井 利 輝
16号 (南山形第1)	鈴 木 美智也	35号 (境 田)	小 山 武
17号 (南山形第2)	横 沢 浩 昭	36号 (成 安)	丹 野 都 弘
18号 (南山形第3)	菊 地 完 二	37号 (出羽・明治)	庄 司 栄一郎
19号 (大明神堰)	古 頭 金一郎	38号 (漆 山)	○ 丸 子 宏

令和6年度 決算報告

収入合計	752,091,531
支出合計	559,250,078
差引残額	192,841,453 (次年度繰越)

令和6年度の一般会計収支決算及び財務諸表は、第189回総代会において議決されました。

(単位：円)

【 収 入 】				
科 目	予算額	決算額	比較増減	附記
1.土地改良事業収入	390,552,000	389,540,235	△ 1,011,765	賦課金、決済金
2.附帯事業収入	25,030,000	26,701,964	1,671,964	使用料他
3.基本財産運用収入	1,080,000	1,142,487	62,487	預金利息
4.特定資産運用収入	1,120,000	928,625	△ 191,375	預金利息
5.補助金等収入	17,650,000	14,971,000	△ 2,679,000	事業補助金
6.交付金収入	5,420,000	5,400,000	△ 20,000	適正化事業交付金
7.業務受託料収入	60,590,000	60,583,600	△ 6,400	基幹水利、山形発電
8.雑収入	10,630,000	10,975,893	345,893	過年度賦課金他
9.借入金収入	20,000	0	△ 20,000	
10.基本財産取崩収入	20,040,000	20,033,550	△ 6,450	財政調整積立金取崩収入他
11.特定資産取崩収入	9,340,000	9,114,030	△ 225,970	各地区積立資産取崩収入他
12.固定資産売却収入	50,000	690,767	640,767	財産処分
13.出資金返還収入	10,000	0	△ 10,000	
14.貸付金回収収入	10,000	0	△ 10,000	
15.会計内繰入金	1,520,000	1,402,280	△ 117,720	電気料清算金
16.繰越金	210,500,000	210,607,100	107,100	前年度繰越金
合計	753,562,000	752,091,531	△ 1,470,469	

(単位：円)

【 支 出 】				
科 目	予算額	決算額	比較増減	附記
1.土地改良事業費支出	329,379,280	293,817,312	△ 35,561,968	維持管理工事他
2.一般管理費	191,359,629	181,917,017	△ 9,442,612	運営事務費他
3.土地改良事業負担金等支出	8,770,000	8,764,000	△ 6,000	基幹水利事業分担金
4.借入金返済支出	2,020,000	1,836,384	△ 183,616	管理自動車リース料他
5.支払利息	20,000	0	△ 20,000	
6.固定資産取得支出	2,560,000	2,471,150	△ 88,850	器具備品取得費
7.出資金取得支出	10,000	0	△ 10,000	
8.基本財産積立支出	26,952,973	26,952,973	0	財政調整積立支出他
9.特定資産積立支出	22,012,069	21,831,382	△ 180,687	各地区積立支出他
10.雑支出	457,580	257,580	△ 200,000	申請取下げによる還付
11.貸付金支出	20,000,000	20,000,000	0	山形発電へ事業運営資金貸付
12.会計内繰出金	1,510,000	1,402,280	△ 107,720	電気料清算金
13.予備費	148,510,469	0	△ 148,510,469	
合計	753,562,000	559,250,078	△ 194,311,922	

積立金

(単位:円)

基本財産				
名称	前年度繰越額	収入額	支出額	繰越額
財政調整積立金	367,812,808	10,361,445	20,000,000	358,174,253
償却資産積立金	849,665,404	16,591,528	33,550	866,223,382
合 計	1,217,478,212	26,952,973	20,033,550	1,224,397,635

特定資産				
名称	前年度繰越額	収入額	支出額	繰越額
職員退職給付引当積立金	82,520,002	4,001,627		86,521,629
役員退任慰労金積立金	9,181,231	300,177		9,481,408
管理棟維持管理積立金	42,560,797	3,011,251		45,572,048
補償金積立金	15,405,164	324	1,890,000	13,515,488
各地区積立金	508,389,033	6,410,081	5,000,000	509,799,114
十文字	12,069,389	241		12,069,630
明治	19,778,500	1,500,375		21,278,875
千歳	1,001,810	500,014		1,501,824
出羽	8,396,027	168	3,000,000	5,396,195
久保手・隔間場	6,731,154	149		6,731,303
出羽・明治	65,991,711	1,320		65,993,031
西部	265,436,207	5,309		265,441,516
北部	15,598,195	700,298		16,298,493
八ヶ郷	11,398,499	1,000,188		12,398,687
南山形	4,048,681	81		4,048,762
中部	48,288,845	1,700,966	2,000,000	47,989,811
玉虫	38,626,604	1,000,752		39,627,356
成沢	11,023,411	220		11,023,631
各地区決済金積立金	912,101,358	8,107,922	2,224,030	917,985,250
一般	711,697,709	5,245,406	159,063	716,784,052
十文字	6,828,007	471,988		7,299,995
明治	4,496,301	4,490		4,500,791
千歳	4,790,876	4,790		4,795,666
出羽	18,157,585	390,586	64,967	18,483,204
久保手・隔間場	1,448,448	1,440		1,449,888
出羽・明治	12,189,678	47,194		12,236,872
西部	33,936,037	164,359		34,100,396
北部	21,399,183	280,818		21,680,001
八ヶ郷	20,990,147	317,668		21,307,815
南山形	23,418,159	186,793	2,000,000	21,604,952
中部	45,359,020	898,210		46,257,230
玉虫	7,390,208	94,180		7,484,388
合 計	1,570,157,585	21,831,382	9,114,030	1,582,874,937

監 査 報 告

最上川中流土地改良区定款第22条の規定に基づき、最上川中流土地改良区の業務並びに経理の状況を、令和6年度中間監査として、令和7年1月28日に、また決算監査として令和7年7月3日・4日の2日間にわたり、監事3名出席のもと、各関係書類の提出を求め、詳細に監査を実施したが、適正に執行され正確であることを確認しました。

総括監事江口順市

監事渡邊欣一

監事五十嵐昇



貸借対照表

(単位：円)			
科目	金額	科目	金額
I 資産の部		II 負債の部	
Ⅰ 流動資産		Ⅰ 流動負債	
現金及び預金	183,622,886	未払金	18,484,609
未収賦課金等	2,206,865	預り金	862,995
その他未収金	30,311,671	適正化事業拠出金短期未払金	12,660,000
2 固定資産		未払消費税等	1,745,500
基本財産	1,281,532,019	リース債務	1,164,384
特定資産	6,687,543,831	2 固定負債	
その他固定資産	148,803,647	適正化事業拠出金長期未払金	7,224,000
資産合計	8,334,020,919	職員退職給付引当金	64,112,000
		役員退任慰労引当金	9,472,000
		その他固定負債	3,313,200
		負債合計	119,038,688
		III 正味財産の部	
		Ⅰ 指定正味財産	3,615,072,120
		2 一般正味財産	4,599,910,111
		正味財産合計	8,214,982,231
		負債及び正味財産合計	8,334,020,919



財産目録

(単位：円)			
科目	金額	科目	金額
I 資産の部		II 負債の部	
Ⅰ 流動資産		Ⅰ 流動負債	
現金及び預金		未払金	18,484,609
現金	177,180	預り金	862,995
普通預金	133,445,706	適正化事業拠出金短期未払金	12,660,000
定期預金	50,000,000	未払消費税等	1,745,500
未収賦課金等		リース債務	1,164,384
経常賦課金	961,706	2 固定負債	
特別賦課金	1,245,159	適正化事業拠出金長期未払金	7,224,000
その他未収金	30,311,671	職員退職給付引当金	64,112,000
2 固定資産		役員退任慰労引当金	9,472,000
(1) 基本財産		その他固定負債	3,313,200
山林、宅地及びその従物	57,134,384	負債合計	119,038,688
財政調整積立金	358,174,253	III 正味財産の部	8,214,982,231
償却資産準備積立金	866,223,382	負債及び正味財産合計	8,334,020,919
(2) 特定資産			
所有土地改良施設	4,601,281,548		
土地改良施設用地等	531,739		
受託土地改良施設使用収益権	502,855,607		
職員退職給付引当積立資産	86,521,629		
役員退任慰労金積立資産	9,481,408		
管理棟維持管理積立資産	45,572,048		
補償金積立資産	13,515,488		
各地区積立資産	509,799,114		
転用決済金積立資産	917,985,250		
(3) その他固定資産			
建物	60,760,843		
機械及び装置	2		
器具備品	5,260,299		
リース資産	4,477,584		
適正化事業拠出金	9,030,000		
長期未収賦課金等	5,954,519		
出資金	43,320,400		
長期貸付金	20,000,000		
資産合計	8,334,020,919		



今年の水管理を振り返って

水利調整委員会 委員長 大木万之助

組合員の皆様には日頃より当土地改良区の水管理運営にご理解をいただき厚く御礼申し上げます。また、水利調整委員の皆様には、各施設の管理及び水利の調整をしていただきありがとうございます。

今年の冬は雪も多く、ダム、河川共に水も十分にあり確保できるものと思っていた矢先、四月十四日に国営大曾根揚水機場での漏水事故により送水不能となり、甚大な問題が生じました。しかしながら、国・県・市・町のご理解とご協力により田植え期までに通水することが出来ました。その間、組合員や耕作者への周知及び説明会を開催し、現状と番水計画についてご理解をいただき、仮設ポンプでの通水を始めることが出来ました。特に関係する西部一・二工区の委員、中流職員の皆様方の日々の作業、大変ご苦勞様でした。

その後、連日、高温状態が続き出穂期の水の確保が困難な状況になり、緊急の水利調整委員会を開催し長井ダム、蔵王ダム、河川、ため池の状況を説明し番水計画について話し合いを行い、計画を実施しました。数日後の降雨により番水計画は解除となり一安心することができました。

施設の老朽化への対応、異常気象が常態化することも予測されますが、国・県・市・町の関係機関のご指導、ご協力を頂きながら、管理運営していきたいと思えますので、今後とも皆様には水管理へのご理解とご協力をお願い申し上げます。

地区管理運営委員会だより

中部地区管理運営委員会 委員長 朝倉 了

当委員会の管理区域は、山形市中心市街地西側に位置し、北はJR左沢線から、南は県道山形白鷹線までとなっており、陣場地区・下条地区・志戸田地区・榎沢地区・飯塚地区・上町地区・南沼原地区の七地区、約六四五haの管理を担っております。中部地区は比較的大きな自然災害は少ないですが、水管理では水量不足等により配水調整が大変で、下流域の水が滞ることがあり、耕作者の方々には心配をおかけすることもあります。

近年は、農道を一般車両が頻繁に通る路面の破損や事故による用排水路破壊、ゴミの不法投棄など市街地近隣特有の問題を抱えており、行政側にも協力を要請しているところです。また、経年劣化による用排水路や設備の老朽化等の補修更新には多面的機能支払制度組織の事業計画と調整し連動しながら進めているところです。

当地区は開発が年々進んでおり国道一一二号山形中山道路、山形南道路の新規事業決定により農地の大幅な減少が懸念されます。また、中部地区全域を東西に分断されるため農道や用排水路が変容してしまい、今後の管理が煩雑してくると思われます。それら全般に対応していくには組合員、耕作者の皆様のご理解とご協力が不可欠となりますので、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしく願います。

これからも管理委員と共に適正運営に務めてまいりたいと思っております。

つながるマルシェ

「土地改良区がどんなことをしているのか、多くの人に知ってもらいたい」という思いで、11月9日(日)に『つながるマルシェ』を初めて開催しました。

初開催にもかかわらず多くの方にご来場いただき、管内で採れた玄米や野菜等に加え、めだかや米粉パンがブースに並び、来場者との交流が活発に行われました。ビンゴ大会や餅つき大会、施設を見学するゲームも行われ、幅広い世代が楽しめるイベントとなりました。

ご来場いただいた皆さま、誠にありがとうございました。



職員農業研修『最上川中流 農・How・ラボ』

職員が直接現地で米作りを体験する農業研修ですが、中部地区管理運営委員会下条地区長 齋藤良一さんに春から指導を受け、実りの秋には無事に新米を収穫することができました。種まきから稲刈りまで、一貫して米作りを経験したことにより農作業の苦労や課題、収穫の喜びなど多くを学ぶことができました。

米作りに必要な水の大切さを職員一同再認識し、今回の経験を今後の業務に活かして参りたいと思います。



山形市主催 花壇コンクール最優秀賞!! グリーンフィールド西崎(多面的)

おめでとうございます!



◇◇◇土地改良区への通知義務について◇◇◇ こんな時は土地改良区へ届けましょう

【組合員の資格変更】

公共機関（市町、農業委員会、法務局等）及び農協等の手続きだけでは、土地改良区の組合員名簿及び土地台帳等に変更されません。賦課の基準は毎年4月1日現在の土地改良区の台帳に記載されている事項を対象に賦課しておりますので、移動等がありましたら、速やかに届出下さい。

1. 所有権や耕作権の移動（売買、賃貸借、交換）
2. 死亡又は生前贈与等の名義変更
3. 農業者年金受給のため経営移譲
4. 住所等の変更
5. 賦課金の振替口座関係の変更

【農地転用】（公共用地に買収された時も届出が必要）

1. 農地を転用等により地区から除外する場合は、地区除外決済金を納付していただきます。
2. 公共事業による農地買収の場合も届出が必要です。そのままにしておきますと賦課面積の変更は生じません。

【土地改良施設の他目的使用の届出】

土地改良施設（用排水路・農道等）を下記の目的等で使用する場合は、『土地改良施設使用許可申請書』を提出し、許可を得て使用料を納付してから使用することになります。

- | | |
|---------------|--------------------|
| 1. 雨水排水の放流 | 6. 農地改良に伴う農道使用 |
| 2. 工場等の雑排水放流 | 7. 下水管、水道管、排水管等の埋設 |
| 3. 水路への蓋（橋）掛け | 8. 電柱等の設置 |
| 4. 工事に伴う水路敷使用 | 9. 宅地への通用路としての農道使用 |
| 5. 工事に伴う農道使用 | |

注意！滞納賦課金は新組合員が継承

※ 滞納されている土地の権利を取得すると、土地改良法第42条（権利義務の継承及び決済）により新組合員が滞納賦課金を支払わなければなりません。

当土地改良区施設使用料及び手数料

1. 土地改良施設の他目的使用料：個人 1 件年額 2,000 円
（農道使用の場合）※尚、組合員以外の場合は別料金となります。

2. 境界の立会い

- 境界立会申請：1 件 5,000 円
- 誤謬訂正の申請：1 件 10,000 円
- 測量：実 費

3. 各種意見書交付手数料：1 件 1,000 円
（農地転用に係る手数料は、面積によって異なります）

4. 各種証明書交付手数料：1 件 1,000 円

5. 農地改良に係る手数料：1 件 1,000 円

※別途、消費税がかかります。

※ 詳細については、最上川中流土地改良区事務所まで、お問い合わせください。

国営施設 西部幹線用水路の踏査(幹線トンネル)



【参加した関係者一同及び踏査状況】

この西部幹線トンネルは、昭和五十六年に供用が開始されてから四十四年が経過して老朽化しているところもありますが、この度の踏査において異常箇所は見つかりませんでした。最大七・八m/sの水を導水する基幹施設であり、今後も管内の田畑を潤し、安定的な水の供給を図るべく維持管理に万全を期していきたいと思えます。

十一月二十五日に、非かんがい期における土地改良施設の状況確認作業の一環として、西奥羽土地改良調査管理事務所・山形県・村山総合支庁の関係機関職員並びに、当区理事長及び役職員の総勢二十二名が参加をして、朝日町四ノ沢地内の最上川取水口から、出口である山辺町大字根際まで、約十kmに及ぶ西部幹線トンネルの踏査を実施しました。

大曽根揚水機場の突発事故復旧について



【R7.11.27 大曽根揚水機場復旧状況】

現場での技術的助言や各種調整にお力添えいただき、安定した用水確保につながることができましたこと、深く御礼申し上げます。

現在、本復旧工事を進めており、今年度末までには、全ての復旧工事が完了する見込みです。

また、本事故対応にあたり、指導機関の皆さまからは、迅速かつ的確なご指導を賜りました。

令和七年四月十四日に「国営大曽根揚水機場」において発生した漏水事故によりポンプの稼働ができない状況となりましたが、仮設水中ポンプを四基設置し、代かき・田植え期の用水供給を行いました。

さらに、七月の中干し期には、電気設備等の仮復旧を行い、仮設水中ポンプから一号及び二号ポンプの自動運転へ切り替えることができました。関係受益者の皆さまには、番水や節水へのご協力をいただき、高温少雨の厳しい状況を乗り越えることができましたこと、心より感謝申し上げます。

農業用排水路施設等での事故防止のお願い

近年農業用施設での水難事故が多発しております。

水路やため池周辺で水遊び等をする子供を見かけたら、「あぶないよ!」とご注意くださいようお願い申し上げます。

